

1 この科目の構成について

教 科	地理歴史科	科 目	地理B	単 位	3単位
対象コース	カレッジ・SC理系	対象クラス	3年1組		
使用教科書	新詳地理B（帝国書院） 新詳高等地図（帝国書院）				
使用副教材	15新地理要点ノート（啓隆社） みんなのセンター教科書（旺文社）				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学 習 目 標	—この科目を学習して何を身に付けてほしいのか—
	<p>(1) 私達の世界は、どのような資源や産業の生産活動により成立しているのでしょうか。そして、その生産活動は、どのような変化を遂げるのでしょうか。資源・産業に関する知識を深め、今までの変化、これからの変化を読み取る力を身につけて下さい。</p> <p>(2) 私達の世界は、さまざまな指標を用いることにより、さまざまな地域に区分されています。指標である自然・産業・人種・民族・国家に関する知識を深め、地域の特色及び地域間に共通するもの・相違するものを把握する力を身につけて下さい。</p> <p>(3) 私達の世界の現在と未来を正しく把握するために、情報を集める力・情報を分析する力を身につけて下さい。</p>
学 習 内 容	—この科目で学習する大まかな内容—
	<p>(1) 農業・林業・水産業→各産業の特色、特色ある生産地域、生産量・輸出入量の特色について学びます。</p> <p>(2) エネルギー資源・鉱産資源→各産業の特色、特色ある生産地域、生産量・輸出入量の特色について学びます。</p> <p>(3) 工業→工業の発達、工業の立地・移動、世界の工業地域の分布・特色、日本の工業地域の分布・特色について学びます。</p> <p>(4) 交通・通信・貿易・商業・観光業→交通機関・通信手段の特色、貿易構造、商業の形態、観光業の特色について学びます。</p> <p>(5) 人口・村落・都市→人口の分布・構成・移動・問題、村落と都市の立地・種類、都市の発達・機能・問題について学びます。</p> <p>(6) 生活文化・民族・宗教・国家→生活文化の特色、人種と民族の分類・問題、国家と国家群の種類、領土問題について学びます。</p> <p>(7) 地誌→今までの学習のまとめとして、各国の自然・産業・生活文化などについて学びます。</p>
学 習 方 法	—この科目を学校と家庭でどのように学習すればいいのか—
	<p>(1) 学校 授業では、先生の説明に大切な内容が含まれています。「自分でも大切だと思った内容」を追加してノートに書き込みましょう。また、学んだ知識を活用する・わかりやすく伝える・友達と話し合うことを通して、さまざまな考えを深めるようにしましょう。</p> <p>(2) 家庭 ① 復習は必要です。授業で理解できなかった用語や内容は、その日のうちに教科書などで確認しておきましょう。 ② 新聞やテレビのニュースを必ず見ましょう。問題を解く際に力強い味方になります。常識で解ける問題もあります。 ③ 模試の見直しの際、模範解答の解説書を熟読し、「正解の根拠・地図や統計読解のテクニック」を理解し覚えましょう。</p>

3 この科目の評価方法について

評 価 方 法	—何をを使って評価するのか—
	<p>(1) 定期考査→年4回の定期考査は、授業の学習内容から出題します。</p> <p>(2) 要点ノートの点検→ 授業内容がしっかり記入されているかなど、ノートの活用内容を評価します。</p> <p>(3) 春休み・夏休みの課題→予習・復習用の課題です。休み明けに確認テストを行い、理解度を評価します。</p> <p>(4) 地図・統計資料の課題→地図・統計資料を用いた各種作業を行い、作業内容の理解度や正確さを評価します</p> <p>(5) 協働学習への関わり方→意見を伝え、意見を聞き、意見をまとめるなど協働学習への関わり方を確認します。</p>
評価における定期考査の割合	
	70 %

4 この科目の評価の観点について

評 価 の 観 点	—この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか—
	<p>(1) 関心・意欲・態度 授業における発言、課題や作業への取り組みが積極的であり、地理への関心を深め授業内容を進んで理解しようとしているのかを見ます。そのために、課題や作業の提出状況と内容を見ます。また、協働学習に対する取り組み姿勢を見ます。</p> <p>(2) 思考・判断 授業の各分野において、単に用語を暗記するだけでなく、地図や統計資料を用いての発展的な課題に対し、解答を見つけることができるのかを見ます。また、協働学習において、意見交換を通して自分の意見を進化させているのかを見ます。</p> <p>(3) 技能・表現 新聞やテレビで得た情報を、地理の学習内容に結びつけることができるか。また、授業の内容理解にどのような資料を用い、どのように活用するのがなどの技能を見ます。また、協働学習における意見の伝え方（表現力）も見ます。</p> <p>(4) 知識・理解 授業で学んだ自然環境・産業・資源について、基本的な用語や説明内容を正しく理解し、「ある地域の特色や地域間の共通性などをとらえる」という地理的な見方や考え方が身につけているか見ます。</p>

年間学習計画		—この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—		重視する評価の観点				
期	月	学 習 の 項 目	学 習 の 内 容	関	思	技	知	
1	4	第2編 資源と産業						
		第1章 農林水産業						
第1節 農牧業の立地と変容				●	●	●	●	
(1) 農牧業		① 農業の自然条件・農業の社会条件を学びます。						
(2) 農牧業の成立条件		① 栽培限界・寒冷限界・高距限界・棚田・等高線耕作を学びます。 ② 集約的農業・粗放的農業・土地生産性・労働生産性を学びます。 ③ チューネンの孤立国・主要穀物の栽培限界を学びます。						
第2節 自給的農業			●	●	●	●		
(1) 焼畑農業		① ハック・キャッサバ・タロイモ・ヤムイモを学びます。						
(2) オアシスおよび灌漑農業		① オアシス・アスワンハイダム・カナート・フォガラを学びます。						
(3) 遊牧		① ゲル・パオ・リヤマ・アルパカ・トナカイを学びます。						
(4) 集約的稲作農業・畑作農業		① 沖積平野・デカン高原・東北地方・華北地方を学びます。						
第3節 アジアの代表的な農業国		●	●	●	●			
(1) 中国	① 人民公社・生産責任制・万元戸・チンリン山脈—ホワイ川線・スーチョワン盆地・チュー川を学びます。							
(2) タイ	① チャオプラヤ川・緑の革命・浮稲を学びます。							
(3) インド	① ガンジス川・パンジャブ地方・アッサム地方・シュート・綿花レグール土・ザミンダール制を学びます。							
第4節 ヨーロッパ式農牧業		●	●	●	●			
(1) 混合農業	① 三圃式農業・北フランス平原・コーンベルトを学びます。							
(2) 酪農	① デンマーク・ポルダー・移牧・酪農地域を学びます。							
(3) 園芸農業	① 促成栽培・抑制栽培・近郊農業・輸送園芸を学びます。							
(4) 地中海式農業	① 地中海沿岸・カリフォルニア地方・オリーブを学びます。							
(5) EUの共通農業政策	① 支持価格制度・輸出補助金・輸入課徴金を学びます。							
第5節 ロシアおよび周辺国の農牧業	① 集団農業・チェルノーゼム・ひまわりを学びます。	●	●	●	●			
第6節 企業的農牧業		●	●	●	●			
(1) 企業的穀物農業	① 産業革命・大規模農業・プレーリー・湿潤パンパを学びます。							
(2) 企業的牧畜業	① フィードロット・乾燥パンパ・メリノ種を学びます。							
5	第7節 企業的農牧業国	(1) アメリカ合衆国	① 適地適作・穀物メジャー・アグリビジネス・小麦地帯・とうもろこし地帯・牧畜地帯・土壌浸食を学びます。	●	●	●	●	
		(2) オーストラリア	① グレートアーテジアン盆地・マリー川・冷凍船を学びます。					
		(3) ニュージーランド	① 北島・南島・コリデール種・ジャージー種を学びます。					
		(4) アルゼンチン	① エスタンシア・パンパ・アルファルファを学びます。					
		第8節 プランテーション農業	① 嗜好品・モノカルチャー・天然ゴム・油やしを学びます。	●	●	●	●	
		第9節 日本の農業	① 農地改革・減反政策・農産物の自由化・セーフガード・自給率を学びます	●	●	●	●	
		■ 第1回考査						
		第10節 林産資源		●	●	●	●	
		(1) 熱帯林	① アマゾン川・セルバ・マングローブ・ラワンを学びます。					
		(2) 温帯林	① シュヴァルツヴァルト・人工林・酸性雨を学びます。					
(3) 冷帯林	① 軟木・常緑針葉樹・林産都市を学びます。							
(4) 森林の役割	① 水資源の涵養・防風林・レクリエーションを学びます。							
(5) 日本の林業	① 国有林・私有林・米材・北洋材を学びます。							
第11節 世界の水産業		●	●	●	●			
(1) 水産業	① 漁業・水産養殖・栽培漁業を学びます。							
(2) 漁業の近代化	① 沿岸漁業・沖合漁業・遠洋漁業を学びます。							
(3) 大漁場成立の条件	① バンク・潮目・天然の良港を学びます。							
(4) 世界の主要漁場と主要漁獲国	① 北西太平洋漁場・北東太平洋漁場・南東太平洋漁場・北西大西洋漁場・北東大西洋漁場を学びます。							
第12節 日本の水産業		●	●	●	●			
(1) 特色	① とる漁業・育てる漁業・買う漁業を学びます。							
(2) 諸問題	① 乱獲・水産資源の枯渇・零細経営を学びます。							
(3) 水産養殖・加工	① かき養殖・真珠養殖・のり養殖・うなぎ養殖を学びます。	●	●	●	●			
第13節 食料問題								
(1) 人口と食料の実態	① 人口爆発・食料供給の地域格差を学びます。							
(2) 食料不足地域の問題	① サヘル地域・人為的要因・輸出入農産物の生産を学びます。							
(3) 食料過剰地域	① 食料自給率・アグリビジネスを学びます。							
(4) 日本の食料問題	① 食料自給率の低さ・バイオ燃料・遺伝子組み換え作物・狂牛病を学びます。							

年間学習計画		—この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—		重視する評価の観点				
期	月	学 習 の 項 目	学 習 の 内 容	関	思	技	知	
1	5	第2章 鉱・工業						
		第1節 エネルギー資源			●	●	●	●
		(1) エネルギー供給の推移	① エネルギー革命・固体燃料・液体燃料・ガス体燃料を学びます。					
		(2) 石炭	① 古期造山帯・鉄鋼業・火力発電・中国を学びます。					
		(3) 石油	① 新期造山帯・パイプライン・サウジアラビアを学びます。					
		(4) 天然ガス	① クリーンエネルギー・LNG・アメリカ合衆国を学びます。					
	6	第2節 鉱産資源	(5) 2度の石油危機と変化	① 資源ナショナリズム・OPEC・OAPECを学びます。				
			(6) 電力	① 水力発電・火力発電・原子力発電・地熱発電を学びます。				
			(7) 新しいエネルギー	① 風力発電・太陽光発電・バイオマスエネルギーを学びます。				
			第2節 鉱産資源		●	●	●	●
			(1) 鉱産資源	① 金属資源・非金属資源・貴金属・レアメタルを学びます。				
			(2) 鉱産資源の生産	① 鉄鉱石・銅・錫・鉛・亜鉛・ニッケル・マンガンを学びます。				
第3節 工業の発展と立地				●	●	●	●	
第4節 ヨーロッパの工業		(1) 近代工業の発展	① マニュファクチュア・蒸気機関・工場制機械工業を学びます。					
		(2) 工業立地	① 立地因子・立地条件・ウェーバーの工業立地論を学びます。					
		(3) 工業立地の分類	① 原料指向型・市場指向型・電力指向型・臨海指向型を学びます。					
		(4) 工業の立地移動	① アメリカ合衆国の綿工業の例・鉄鋼業の例を学びます。					
		(1) 工業地帯の成立	① 内陸地域から臨海地域への移動・ブルーバナナを学びます。	●	●	●	●	
		(2) 各国の工業の特色						
		① イギリス	① ランカシャー・ブラックカントリー・北海油田を学びます。					
		② フランス	① ダンケルク・マルセイユ・トゥールーズを学びます。					
		③ スペイン・ベルギーなど	① ビルバオ・ロッテルダム・ユーロポートを学びます。					
		④ スウェーデン	① キルナ・エリヴァレ・森林資源を学びます。					
		⑤ ドイツ	① ライン川・ルール・ガストアルハイターを学びます。					
7	第5節 アングロアメリカの工業	⑥ スイス・イタリア	① 工業の三角地帯・タラント・パノーニ計画を学びます。					
		⑦ ポーランド・チェコ	① シロンスク炭田・グダンスク・ポホミアを学びます。					
		(1) アメリカ合衆国		●	●	●	●	
		(2) カナダ	① 工業地域（ニューイングランド・五大湖沿岸など）を学びます。					
		(3) ロシア及び周辺諸国の工業	② 工業地域の変貌（サンベルト・フロストベルト）を学びます。					
		(4) ソ連崩壊後のロシアの経済	① トロント・モントリオール・ヴァンクーヴァーを学びます。	●	●	●	●	
	第6節 ロシア及び周辺諸国の工業	(1) 社会主義国としてのソ連経済	① 計画経済・コンビナート方式・コンプレックスを学びます。					
		(2) ソ連崩壊後のロシアの経済	① 市場経済・エネルギー資源の開発・BRICSを学びます。					
		(3) 工業地域	① ロシア（アングラバイカル工業地域など）を学びます。					
		第7節 アジアの工業	② ウクライナ（ドニエプル工業地域など）を学びます。					
		(1) 工業発展の過程	③ アゼルバイジャン（バクー工業地域など）を学びます。					
		(2) 韓国	④ カザフスタン（カラガンダ工業地域など）を学びます。					
第8節 その他の国々の工業		(3) 中国	⑤ ウズベキスタン（中央アジア工業地域など）を学びます。					
		(4) 香港	① 輸入代替型工業・輸出指向型工業・輸出加工区を学びます。	●	●	●	●	
		(5) 台湾	① 朝鮮戦争・漢江の奇跡・プサン・ポハン・ウルサンを学びます。					
		(6) シンガポール	① 文化大革命・改革開放政策・世界の工場・郷鎮企業を学びます。					
		(7) インド	② 工業地域（東北・華北・華中・華南）・経済特区を学びます。					
		(1) オーストラリア	① カオルン半島・ホンコン島・中継貿易・一国二制度を学びます。					
	(2) メキシコ	① カオシュン・タイペイ・シンチューを学びます。						
	(3) ブラジル	① シュロン工業地域を学びます。						
	第9節 日本	① ジャムシエドブル・ムンバイ・バンガロールを学びます。	●	●	●	●		
	(1) 工業の発展	① 工業都市（シドニー・メルボルン・プリズベンを学びます。						
	(2) 主な工業地域	① マキラドーラ・NAFTA・メキシコシティを学びます。						
	(3) 工業都市	① サンパウロ・リオデジャネイロ・ベロオリゾンテを学びます。	●	●	●	●		
第3章 世界の結ぶ交通・通信	第1節 交通機関の発達	(1) 工業の発展	① 富国強兵・殖産興業・富岡製糸場・八幡製鉄所を学びます。					
		(2) 主な工業地域	② 特需・太平洋ベルト・円高・エレクトロニクス産業を学びます。					
		(3) 工業都市	① 工業地域（京葉・京浜・東海・中京・阪神など）を学びます。					
	第3章 世界の結ぶ交通・通信	第1節 交通機関の発達	(1) 原始的な交通	① 工業都市（苫小牧・鹿嶋・諏訪・佐世保など）を学びます				
			(2) 近代交通の発達	■ 第2回定期考査				
			(3) 日本における交通の発達					
		第1節 交通機関の発達	(1) 原始的な交通	① リヤマ・アルパカ・ヤク・ラクダ・トナカイを学びます。	●	●	●	●
			(2) 近代交通の発達	① 蒸気機関・フルトン・内燃機関・ライト兄弟を学びます。				
			(3) 日本における交通の発達	① 新幹線・リニアモーターカー・時間距離を学びます。				

年間学習計画		—この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—		重視する評価の観点			
期	月	学 習 の 項 目	学 習 の 内 容	関	思	技	知
1	7	第2節 交通機関の特徴 (1) 航空交通 (2) 水上交通 (3) 鉄道交通 (4) 自動車交通 (5) パイプライン	① ハブ空港・路線別輸送量・関西国際空港を学びます。 ① コンテナ・便宜置籍船・国際運河・国際海峡を学びます。 ② 内陸水路交通・ライン川・ドナウ川・ミシシッピ川を学びます。 ① ICE・TGV・パークアンドライドを学びます。 ① アウトストラダデルソーレ・アマゾン横断道路を学びます。 ① ドルジバパイプライン・ペトロラインを学びます。	●	●	●	●
2	8	第3節 通信技術の発達 (1) 様々な通信技術 (2) 情報社会と問題点 第4章 世界の貿易 第1節 産業の国際化 (1) 国際分業の成立 (2) 貿易の形態 (3) 産業のグローバル化 第2節 現代世界の貿易 (1) 貿易の拡大と変化 (2) 日本の貿易 (3) 日本の経済協力	① インテルサット・ランドサット・GPSを学びます。 ① デジタルディバイド・セキュリティ・著作権を学びます。 ① 冷凍船・フェアトレード・南北問題・南南問題を学びます。 ① 自由貿易・保護貿易・貿易摩擦を学びます。 ① グローバル化・多国籍企業・産業の空洞化を学びます。 ① IMF・GATT・IBRD・ドル危機・WTOを学びます。 ① 加工貿易・FTA・EPA・セーフガードを学びます。 ① ODA・JICA・海外青年協力隊・NGOを学びます。	●	●	●	●
	9	第5章 商業・観光業 (1) 商業環境の変化 (2) 現代の商業形態 (3) 観光の発展 (4) 観光行動の多様化 第3編 人口、村落・都市 第1章 人口問題 第1節 人口分布と人口構成 (1) 世界の人口の分布 (2) 人口移動 第2節 さまざまな人口問題 (1) 日本 (2) スウェーデン (3) 中国 第4章 村落・都市 第1節 村落 (1) 村落の立地 (2) 村落の形態 (3) 村落の発達(日本) 第2節 都市 (1) 都市の立地 (2) 都市の発達の歴史 (3) 日本の都市の発達 (4) 都市の形態 (5) 都市の中心地機能 (6) 機能による都市の分類 第5章 都市化と居住・都市問題 第1節 都市の発達と機能 (1) 都市化 (2) 都市の地域分化 第2節 世界の都市・居住問題 (1) 大都市における都市・居住問題 (2) 先進国の都市・居住問題 (3) ニューヨークの再開発 (4) 発展途上国の都市問題 (5) メキシコシティの都市問題	① 通勤圏・通学圏・買まわり品・最寄り品を学びます。 ① POSシステム・インターネット・ファストフードを学びます。 ① バカンス制度・テーマパーク・外国人観光客の増加を学びます。 ① グリーンツーリズム・エコツーリズムを学びます。 ① エクメーネ・寒冷限界・乾燥限界・高距限界を学びます。 ② 自然増加・社会増加・人口爆発・マルサスを学びます。 ③ 人口転換・多産多死・多産少死・少産少死を学びます。 ④ 人口ピラミッド(ピラミッド型・釣鐘型など)を学びます。 ① 華僑・ガストアルバイター・ヒスパニック・屯田兵を学びます。 ① ベビーブーム・団塊の世代・合計特殊出生率を学びます ② 高齢化社会・合計特殊出生率・少子化などを学びます。 ① 福祉国家・社会保障・少子化対策・育児休暇を学びます。 ① 13億の人口・一人っ子政策・小皇帝・黒孩子・を学びます。 ① 新田集落・納屋集落・輪中集落を学びます。 ① 塊村・円村・列村・路村・街村・宿場町・屯田兵村を学びます。 ① 糸里集落・名田百姓村・豪族屋敷村・隠田百姓村を学びます。 ◎ 道徳教育を実施 ① 平野・海洋・河川・湖沼などにおける立地を学びます。 ① 団都都市・ポリス・要塞都市・ハンザ同盟・首都を学びます。 ① 市場町・港町・門前町・寺内町・城下町・宿場町を学びます。 ① 直交路型・放射環状型・放射直交型・迷路型を学びます。 ① 商圏・三大都市圏・広域中心都市・政令指定都市を学びます。 ① 生産都市・交易都市・消費都市の代表例を学びます。 ① メトロポリス・コナーベーション・メガロポリスを学びます。 ① 都心・CBD・シティ・副都心・ターミナルを学びます。 ② 中心業務地区・中心商店街・問屋街・副都心などを学びます。 ③ 同心円モデル・扇形モデル・多核心モデルなどを学びます。 ① スラム・スクワッター・プライメイトシティを学びます。 ① ドーナツ化現象・スプロール現象・インナーシティを学びます。 ① ウォール街・ハーレム・ジェントリフィケーションを学びます。 ① ストリートチルドレン・インフォーマルセクターを学びます。 ① 交通渋滞・大気汚染・スモッグを学びます。	●	●	●	●

年間学習計画		—この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—		重視する評価の観点				
期	月	学 習 の 項 目	学 習 の 内 容	関	思	技	知	
2	9	第3節 都市計画 (1) 都市計画 (2) ロンドンの都市計画 (3) パリの都市計画 (4) 東京の都市計画 第4編 生活文化、民族・宗教・国家 第1章 生活文化 (1) 衣服の文化 (2) 食文化 (3) 住まいの文化 (4) 生活文化のグローバル化 第2章 人種・民族 第1節 人種と民族 (1) 人種 (2) 人種問題 (3) 民族 第2節 言語 (1) 言語の分類 (2) 複数言語の国家 第3節 宗教 (1) 世界宗教 (2) 民族宗教 第4節 民族問題 (1) 民族紛争の原因 (2) 世界の主な民族紛争 第5節 民族の対立をこえて (1) 難民問題 (2) 国境を越えて移動する人々 (3) ドイツに住む外国人 (4) 日本に住む外国人 (5) 民族の共生と多文化主義 第3章 現代世界の国家と国家群 第1節 国家 (1) 国家 (2) 国家の3要素 (3) 国家の分類 (4) 国際連合 第2節 国境と領有権問題 (1) 国境 (2) 国境紛争及び領有権問題 第3節 国家間の結びつき (1) 先進国間の協力関係 (2) 地域的・経済的な協力関係	■ 第3回考査 ① アメニティ・一掃型・修復保全型を学びます。 ① 田園都市・大ロンドン計画・職住近接を学びます。 ① セーナ川・シテ島・ラ＝デファンス・マレ地区を学びます。 ① 臨海副都心・都心部への人口回帰を学びます。 ① チマ＝チョゴリ・アオザイ・サリー・ボンチョを学びます。 ① ナン・チャパティ・ボルシチ・チューニョ・ハラルを学びます。 ① 日干しレンガ・ゲル・パオ・イグルー・高床式住居を学びます。 ① スーツ・カジュアルウェア・ファストフードを学びます。 ① モンゴロイド・ネグロイド・コーカソイドを学びます。 ① アパルトヘイト・WASP・白豪主義・多文化主義を学びます。 ① 多民族国家・単一民族国家を学びます。 ① インド＝ヨーロッパ語族・シナ＝チベット語族を学びます。 ① フラマン語・ワロン語・ブミブトラ政策を学びます。 ① カトリック・プロテスタント・イスラム教・仏教を学びます。 ① ヒンドゥー教・シーク教・ユダヤ教・儒教・道教を学びます。 ① 植民地分割・民族領域を学びます。 ① シンハリ人・シオニズム運動・チェチェン・ツツ族を学びます。 ① パレスチナ難民・インドシナ難民・UNHCRを学びます。 ① 賃金水準による移動・日常生活での異文化との接触を学びます。 ① トルコ人・ガストアルバイター・東西ドイツの統一を学びます。 ① 外国人労働者・不法就労問題を学びます。 ① 多文化主義・公用語・国際連合・国連平和維持活動を学びます。 ① 属領・東ティモール・コソボ・南スーダンを学びます。 ① 主権・領土・領海・領空・国民・排他的経済水域を学びます。 ① 君主国・共和国・単一国家・連邦国家・複節国を学びます。 ① ニューヨーク・安全保障理事会・国際司法裁判所を学びます。 ① 自然的国境・人為的国境（経緯線など）を学びます。 ① カシミール地方・南沙群島・竹島・尖閣諸島を学びます。 ① NATO・ブリュッセル・OECDを学びます。 ① EFTA・EU・NAFTA・ASEANを学びます。	●	●	●	●	
			10	◎ センター試験に向けての問題演習	●	●	●	●
			11	◎ センター試験に向けての問題演習	●	●	●	●
			12	◎ センター試験に向けての問題演習	●	●	●	●